

広島国際学院広報



世界文化遺産 厳島神社の桜

電気工学科教授 河野健次＝撮影

目次

我が大学の存在意義	1
「特集」レンズを利用した 太陽熱利用システムの開発	2・3
一志を高く 大きな夢をー 卒業証書・学位記授与式	4
感動! 「絵画の寄贈」を受ける	4
ひとりひとりの個性が開花する 多彩な資格講習 工学部	5
社会学のまなざし 現代社会学部	6
学生生活を充実させるカリキュラム 現代社会学部	7
就職率100%を継続するために 自動車短期大学部	8
1年生がマツダ工場を見学 自動車短期大学部	9
高校から発信 一楽しかったよ修学旅行ー 高等学校	10
高校Webに「掲示板」開く 高等学校	11
学生時代の想い出と 社会人になって思うこと	12
私の大学生活 一ふり返り思うー	12
研究室紹介	13
各学校の就職・進路状況	14・15
学科横断型教育プログラム 工学部	16
卒業研究発表会へ 工学部	16

時代の流れをリードする副専攻
(学科横断型教育プログラム)

我が大学の存在意義

学長 葉佐井 博 巳

教育機関は次の時代を託せる人材を養成する一翼を担っている。そのため、国は未来のあるべき姿を予測し教育方針を立て指導してきた。明治の教育改革では、世界の文明を取り入れるため、指導者を養成する教育機関をつくり、戦後の教育改革では日本の復興を急務とし、国民一般の教育水準を上げるため、多くの新制大学を発足させた。この結果確かに日本の教育レベルは世界に評価されたが、最近では先端技術は外国から導入、一方既存技術は発展途上国に移りつつある。これを打開するため、特色ある大学を目指す教育改革が行われつつある。このことは、画一的教育のあり方がある意味で否定されたことになる。そのことと少子化を踏まえて、我が大学の飛躍のため、ここで存在意義を考え今後の指針としたい。

人類の文明を追求する夢は限りないが、情操教育を怠れば、文明の発達は人類に対し凶器にもなりかねない。そこで、我が大学を、現在及び将来にわたり人間が安心して生活できる環境を作る人材を育てる教育機関としたい。教育を充実するには、先ず社会のニーズを知り、それに応える教育をする。そのためには、入学したときの学生の資質を知るため、高校との連携も重要である。すなわち入口と出口の情報を把握し、行き届いた教育に役立てたい。幸い我が大学は大規模大学ではない。まさに建学の精神「教育は愛なり」を生かすには絶好の立場にある。もう一度原点に立とう。

レンズを利用した 太陽熱利用システムの開発

特集



太陽熱エネルギーの特徴

情報工学科教授

あおい ひでき
青井 秀樹みよし かずよし
三好 一賢ひだか やすはる
檜高 靖治

(1) 長 所

- 太陽エネルギーは石油や石炭のような化石燃料とは違って、使っても減らない**無限のエネルギー**である。
- 炭酸ガス、窒素酸化物、硫黄酸化物、放射線も出さない**クリーンなエネルギー**である。
- 地表面に達する太陽エネルギーは図1に示すように、大気外エネルギーの約50%である。1年間に地上に到達する太陽エネルギー量は、人間が石炭等の化石燃料から1年間に得ている**総エネルギーの1万倍以上**である。

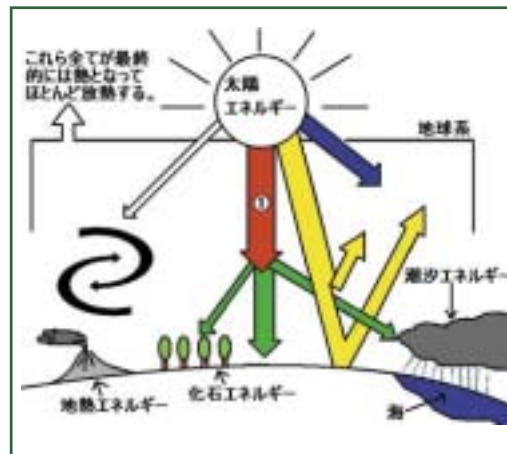


図1 太陽エネルギーの収支

(2) 短 所

- 太陽エネルギーの強さは、太陽光線面1㎡当り、快晴時で約1kWでしかなく、その**エネルギー密度は小さい**。
- 太陽エネルギーは世界中どこでも得られるが、場所、季節、天候によって変動する。**夜間には使えない**。



レンズを使っでの実験

(1) レンズについて

広島安全開発(株)が特許をもつ新型レンズを使って太陽エネルギーを集光する。このレンズは、プラスチックの小さな部分を組み合わせて作るので(特許)、大型のものが非常に安価にできる。実験には、直径約1mの5分割レンズ(写真1)、カマボコ型レンズ(写真2)、直径30cmのレンズを使った。



写真1 5分割レンズ



写真2 カマボコ型レンズ

(2) レンズの実験

上で述べたレンズの基本性能を得るための実験を行った(写真3)。太陽の光をできるだけ垂直に当てるように、レンズをのせる台(写真4)はレールが弧を描いている。この装置を用いてレンズの性能を測定する実験を、工学部10号館の屋上で行った。直径30cmレンズの焦点の大きさは約2cmになる。焦点の大きさ、温度をサーモグラフィ(赤外線カメラ)、熱電対で、太陽光の強さを照度計で測定した。サーモグラフィの画像を写真5に示す。



写真3 実験設備とオールスタッフ



写真4
レンズの台

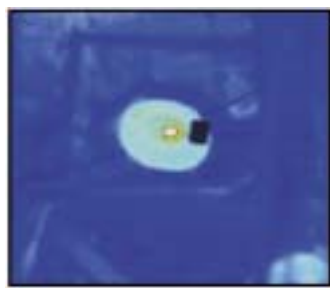


写真5
サーモグラフィーの画像

理論計算

熱伝導、熱伝達、熱輻射の3理論を用いて焦点の温度を実験と同じ条件で計算した。30cmレンズの場合の実験値は587℃、計算値は571℃、計算精度は97%となった。このことから計算は実験をほぼ完全に再現していることがわかった。これらの計算手法を用いて、太陽熱利用システムの設計を行った。

太陽熱利用システム

(1) システム

太陽エネルギーをより多く集めるために、レンズの直径を大きくすると、鏡を使用して光を集めることが必要である。

● 3mレンズ (図2) (11分割レンズ)

現在行っている実験より熱量を上げるためには、太陽光を集光する面積を広げる必要がある。レンズ直径を3mとし、5分割レンズから更にレンズの分割数を増やして11分割レンズにする。

コンピュータの解析結果で、およそ1,560℃の温度が得られることがわかった。更に直径5mにするとおよそ3,000℃が得られる。このようにレンズの直径を大きくすることにより、高温、高発熱量が得られる。

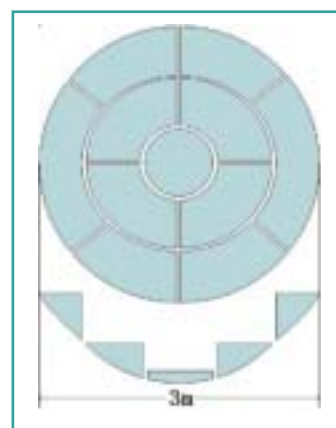


図2 11分割レンズ

● 海水淡水化システム (図3)

縦横各々2mの鏡に太陽の光を反射させ、カマボコ型レンズに集めて油などの熱媒体を熱する。その熱を利用して海水や淡水を蒸発させ、蒸留水を得るシステムである。必要に応じて鏡の枚数を増やす。このように多くの鏡を使用することにより、大きな発熱量が得られる。

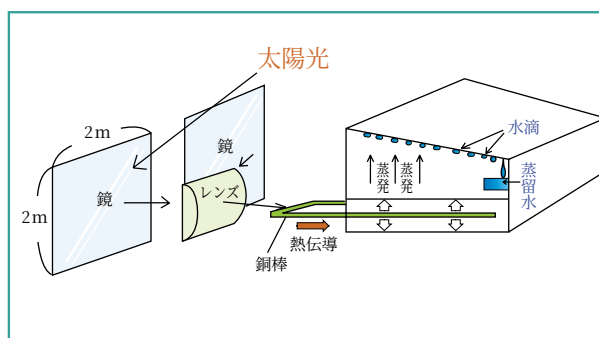


図3 海水淡水化システム

● ヘリオスタット (図4)

これはレンズでなく鏡を使うことによって、多くの熱量を得られるシステムである。ヘリオスタットとは、追尾装置を兼ねた平面鏡である。図4に概念図を示す。

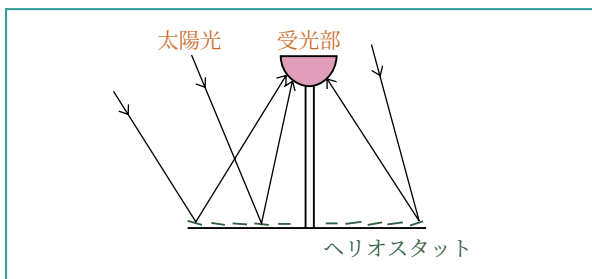


図4 ヘリオスタット

(2) 太陽エネルギーの利用先

太陽エネルギーから得られる高温は、ダイオキシンの分解や金属融解に利用できる。また、大量の熱は淡水化、発電、さらには砂漠の緑地化をも可能にするであろう。

★ 以上の研究から、太陽エネルギーは無尽蔵、無公害のエネルギーで、まさに21世紀のエネルギーと言える。これからの「太陽エネルギー利用」の研究開発は高度となり、多分野に渡るものと考えられる。なお、本研究は平成13年度地域共同教育研究センターの研究費によって行った。

— 志を高く 大きな夢を —

3月19日(火)平成13年度大学院・大学・短期大学部合同卒業証書・学位
記授与式を中野キャンパス体育館で挙行了した。

修士課程14名・工学部414名・自動車短期大学部132名

＝計560名が証書を手にした。

ひきしまった学生の顔は、とりわけ力強さがある。



上高地「朝霧」

磯部徹男先生

- ・ローマン派美術协会会员
台湾・米国・韓国ほか海外に出展受賞多数
- ・岩国市をはじめ各教育機関に絵画寄贈

菅尾洋子先生

- ・広島市大州小学校 教頭
- ・平成12年岡山芸術祭参加
- ・第22回玄画会展新人賞受賞



大山「春雪譜」



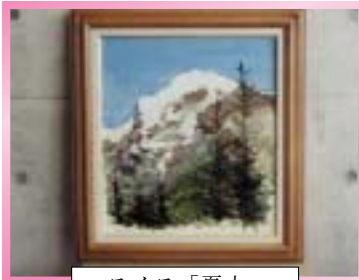
奉納「絵馬」

高須 登先生

- ・昭和62年紺綬褒章受章
- ・平成6年本学退任 名誉教授
- ・本学に絵画10数点を寄贈

谷川和穂先生

- ・衆議院議員 (11期)
- ・平成13年勲一等旭日大綬章受章
- ・本学 理事



スイス「夏山」

山田 諭先生

- ・安芸郡能美中学校教員
- ・平成12年第8回ひろしまナイト美術大賞展佳作受賞



「We are かんがーる」

感動! 「絵画の寄贈」を受ける

現代社会学部の開設時に、磯部徹男氏と高須登先生から素晴らしい絵画の寄贈を受けた。磯部氏は画家で、東京都と山口県を主な活躍の場としておられる。私とはいわゆる師弟の関係である。高須先生は、本大学名誉教授でありもと本工学部の教員であった。

去年9月、学生会館が完成したのあたり、再度の寄贈をお願いしたところ「学生たちの情操教育の一助になれば」とご快諾いただいた。また、谷川和穂先生・菅尾洋子先生・山田諭先生からも寄贈いただくことができた。谷川先生は衆議院議員であり、本学の理事である。菅尾先生の長女は、本学院高校の先生をしている誼で、山田先生は、私の教え子である。

ここに諸氏を紹介し、あわせて作品を掲載する。満腔の敬意と感謝の誠を捧げるものである。

理事長 西本五郎 記

資格取得はエキスパートの第一歩



—資格でキャリアアップ—

資格を取得することは就職に有利なうえ、目標を持つことで授業への意欲も出てくる。また、授業で習った内容が実際にどう使われているかもわかる。工学部では年間を通じて多彩な資格講習会を開き、学生のチャレンジする気持ちを応援している。次はその主なものである。

(1)	CAD利用技術者試験 (機械工学科)	本学はCAD利用技術者試験の試験場に認定されている。CADの授業の他、6月と11月に受験対策講習会を行っている。昨年度の合格者は20名にのぼった。
(2)	CCNA試験対策集中講座 (情報工学科)	コンピュータネットワークの運営やデザインを行うCisco Systems社による資格として最近特に注目されている。CCNAは18名、CCDAにも3名が合格している。
(3)	基本情報技術者試験対策講座 (情報工学科)	夏休みに集中講義形式で行っている。昨年の合格者は、受講者の中から2名。独学で合格する学生も多い。
(4)	情報関連資格講座 (共通基礎講座)	初級システムアドミニストレータ試験と基本情報技術者試験の対策講座。全学部・学科の学生が受講できる。5月から始まり8月の集中講義も含めて10月の試験まで実施する。昨年度は初級シスアドに1名が合格。平成14年度は4月からの開催を予定している。
(5)	デジタル種・二種技術者 試験のための講習会 (メディア情報通信学科)	「工事担任者」の試験に向け、5月から10月にかけて講習会が実施される。1名が科目合格しており今後が期待される。
(6)	第三種電気主任技術者試験講習会 (電気工学科)	電気関係の資格として有力。昨年は5月から8月まで15回の講習が行われた。2名の全科目合格者と6名の科目合格者が出ている。
(7)	第二種電気工事士試験講習会 (電気工学科)	電気工事の資格として根強い人気がある。「筆記試験」対策講習会が4月から6月まで、「技能試験」対策講習会が6月から7月まで行われる。昨年は6名が合格した。
(8)	第一種電気工事士試験講習会 (電気工学科)	第二種よりも高度な資格。「筆記試験」の講習会と「技能試験」の講習会が行われる。昨年は7名が筆記試験に合格した。

4月からは、TOEICなど英語の試験対策を重点的に行う正課の授業も始まる。さらに公務員試験の講習会も行われており、将来の夢に向かって今年も多数の学生が挑戦している。

工学部

ひとりひとりの個性が開花する
多彩な資格講習

オープンセミナーは活気にあふれる

メディア情報通信学科

電子工学科は、時代の要請に沿いカリキュラムを大幅に変更、平成14年4月から「メディア情報通信学科」に改称した。できるだけ多くの方に新学科の特徴を知っていただくため、昨年6月から今年3月にかけて毎月第2土曜日にオープンセミナーを開催した。県外からも問い合わせがあり、ある県立高等学校の校長先生も高校生に混じって参加されるなど大きな反響があった。

セミナー名	
プログラミングによるデジタル回路設計	LEGO MINDSTORMSによる創成型教育
PICマイコンを用いた知能ロボット開発	ブロードバンド(高速大容量通信)が社会を変える
Javaプログラミング入門	コンピュータ・シミュレーションの世界
Visual Basicプログラミング入門	マイクロコンピュータの設計と製作
コンピュータ・グラフィックスとアニメーション	感覚補綴福祉エレクトロニクスの世界

※Javaは登録商標



広がる留学生との交流

留学をステップに夢の実現をめざします



—したしみ、わかちあい、まなびあう—

いま本学では6名の留学生が共に学んでいる。この春には新たに工学部8名、短期大学部2名の計16名となる。キャンパス内で留学生とのふれあいがより多くなり、国際理解と交流の広がりが期待される。

昨年の10月10日には理事長主催の懇談会もあった。6名の留学生と理事長・総長・学長、関係職員が昼食を共にし、なごやかに歓談した。生活や勉強を支援する意味で、日用品・衣類・自転車・電子レンジ等を寄贈する教職員もあり、留学生は大喜びであった。

12月8日の忘年会では、食べて、飲んで、話して、ビンゴゲームを思いっきり楽しんだ。

新年会は1月12日。全員を中華料理店に招待した。新しい年への希望を語り合い、「しっかり自立したい」と元気な決意にあふれていた。

現代社会学部

「現代社会学部」といっても、まだ耳になじみがない方もおられると思う

何を勉強するのか、世の中とどうつながっているのか…さまざまな疑問をお持ちであろう

今回は、教員や学生の研究活動について簡単に紹介したい

社会とのつながりを つねに考えて

— 目黒輝美先生の実践 —

人権、コミュニティ、そしてグローバル化。この三つを福祉のキーワードと考える。20世紀は人権が、万人に尊重されるべきものとして認識され、その実現が目指された。人権は国の法律や制度により保障され、生活の場所・コミュニティで実現される。また、世界の動向とも連動している。先進的な福祉を学び、自分の住むコミュニティで実現し、これから福祉を考える国や地域に成果を敷衍するグローバル化の視点が不可欠である。



ひまわりの花のように大きく広く



これらのキーワードを実現するための私のフィールドが、兵庫県南光町にある。福祉作業所ひまわりは、知的障害を持つ人が中心の小規模作業所である。農山村地域を振興するとともに、障害者・高齢者が住みよい町を作ることを目指す実践と研究の場である。平成15年4月、社会福祉法人「はなさきむら」へステップアップし、アクション・リサーチのサイクル2に入る。いずれは国際的な活動も進めたい。

障害を持つ人が、エンパワメントを実現するために色々な仕事をしている。葡萄や野菜の栽培と販売、給食サービス、軽作業やワープロ、高齢者に対するホーム&ファームサービスなどである。障害を持つ人がサービスの提供者になれることを証明したい。自分自身をエンパワメントし、お互いに助け合うコミュニティの実現が目標である。実践への賛同を強く望む。

社会学のまなざし

秋季市民公開講座

毎回ご好評をいただいている「市民公開講座」も4回目となった。2000年春季の「家族」、秋季の「比較文化」、2001年春季の「情報化社会とコミュニケーション」に続き、2001年秋季は「普段の生活から社会を考える」という共通のテーマであった。

私たちの普段の生活には、夢や思いがあったり、あるいは特定の先



公開講座の様子

タイトル	担当教員	開講日	感想
ケータイ電話がつくる人間関係	大橋 正房	10月26日	携帯電話に対して偏見を持っていたが、コミュニケーションを広げるために使ってみよう
ファッションに見る日本とヨーロッパ	中川 早苗	10月29日	洋服がこんなに和服の要素を取り入れていたなんて驚きです
『戦記もの』を読むー戦争体験と戦後日本ー	高橋 三郎	11月6日	戦争体験者は社会的に意味付けしてほしいのだということは人間が生きていく上で必要だと思う
日常にひそむ暴力ー差別の日常をよみとくー	好井 裕明	11月12日	あたりまえのことを何も感じないで過ごしてきたと思う。もう少し、注意深く思い起こしてみたい。社会学は面白いと思う。人が生きるために考えてゆく基礎的な学問だと思う
数字で読み解く社会の実状	村澤 昌崇	11月19日	アンケートデータの本質、支持率、アンケートについて、1歩進んで考えてみる必要があると思いました

入観や価値観が潜んでいる。その背後にある何かを改めて考え直してみる契機になればと、身近で具体的な問題を取り上げてみた。毎回、社会学のまなざしー違う角度でものごとを見る方法ーに驚きと感銘、そしてさらなる好奇心の感想がきかれた。

社会学はなにか特別なことを対象にするのではなく、私たちの身近にある材料をどう考えるかという学問である。今年度も開講する予定である。興味がある方はぜひ足を運んでみていただきたい。



—町の皆さんにしっかり受け入れられた—

「社会調査実習」の後期の授業では、「瀬野地区住民の生活と意識調査」（昨年9月から10月にかけて実施）のデータ分析を行った。今回の調査では、最終的に81.4%という高い回収率が得られており、住民の方々からのご支援やご協力に応えるためにも、しっかりとした分析が求められている。学生たちは、マルチメディア教室のパソコンに向かって、授業後も遅くまで残って分析を行い、調査結果について議論をした。

今回の調査は、道路整備、施設利用、地域活動、防犯対策、瀬野川との関わり、現代社会学部への意見など、多岐にわたっている。調査報告書の一部をここでは紹介したい。

調査結果で最も目を引いたのは、瀬野地区の現在の居住環境について、住民の方々の評価が低かったことである。「もっと改善すべき」という回答が多かった項目を順に見てみると、道路整備(66.8%)、防犯対策(60.6%)、働き口(58.9%)、日用雑貨・食料品の販売店(57.1%)、交通機関(53.6%)、保健・医療施設(50.9%)となっており、これらについて「現状でよい」とする意見はほとんどの項目で10%を下回った。瀬野地区の環境整備が急がれるべき課題であることが、データによって裏付けられる結果となっている。

本学に対する親しみについては、「それほど感じていない」という回答を含めれば、およそ8割が親し



事実は自分の足と目でつかむ！

これまで大学は勉強するところではないという考え方も世の中にはありました。大学で充実した想い出といえばサークルやクラブ活動など授業以外にもよく聞かれます。しかし、今日の新卒就職難でも明らかのように、大学はまず学びの場でなければなりません。カリキュラムそのものが充実してこそ、社会を生きたしかな知力をつけることができるのです。現代社会学部の代表的な授業であり、まさに自分で考え、答えを出すことが要求される社会調査実習。第二回の報告書ができましたので、ご紹介しましょう。

学生生活を充実させるカリキュラム 「社会調査実習Ⅰ」報告

みを感じていないという結果が得られた。その一方で、現代社会学部と地域との交流に向けて、大学施設の開放や地域活動への学生の参加が重要であるという意見を持つ方は多い。これらの調査結果から、地域に根ざし愛される大学になるために、現代社会学部が果たすべき課題の多いことが痛感された。

今回の調査は授業の一環として実施したものであったが、現代社会学部と地域との交流のきっかけとして、さまざまな形で今後生かしていきたいと考えている。地域の方々にも、是非調査報告の冊子を読んでいただければと願っている。

就職率100%を継続するために

短期
大学部

技術講演・会社説明会を開く



「よろしくお願ひします」

2月4日(月)～6日(水)の3日間、国内全メーカー・系列ディーラ(80名)による技術講演・会社説明会が行われた。約90%の学生がリクルートスーツで出席、会社の特色や訪問日程などを真剣な面持ちでメモしていた。就職を希望する学生はこの後、会社訪問、採用試験と本格的な活動に入る。4月はじめには、例年約20%の学生が内定している。



名刺交換「学生をよろしく」



緊張！ 技術講演

就職保護者懇談会も熱が入る

就職など進路について保護者と相談する懇談会が、2月9日(土)に行われた。

約40%の保護者が出席した。チュータとの個人懇談では、進路のほか学業成績、学生生活にまで話が及ぶなど、熱が入り内容の充実した会であった。



チュータの紹介



約40%の保護者が出席



個人懇談



さあ、ヘルメットをかぶって工場へ

1年生が マツダ工場を見学

平成14年2月7日・8日に、1年生122名が地元のマツダ工場を見学した。これは例年実施されている行事で、自動車製造工程を見学することにより、その知識を向上させることが目的である。アンケートによれば、見学者の63%が小・中・高時代に既に見学していた。「見学コースで最も興味を引いたところ」は「マツダミュージアム」で78%と圧倒的に多く、「車両組立」が35%でこれに次いだ。「将来整備会社就職を希望する者」は114名(93%)もいた。「見学会は進路の選択の参考になったか」の間には、114名が肯定的であった。

小・中・高時代はにぎやかに見学したのだろうが、今回は本学部の実習を通じて、自動車の構造を学習してから見学している。その上、自動車の企画から完成車ができていく工程まで見学したので、来年就職して、実際に整備の仕事をするのに役立つと考えたのであろう。「このような見学会は必要か」の間に、115名(94%)が必要だと答えていた。



ロータリー車は人気の的

実習設備紹介シリーズ④

★電子制御式燃料噴射エンジン実習装置

最近のエンジンは、有害排気ガスや燃費の低減および出力の向上が図られている。そのため、ほとんどのガソリン車に電子制御式燃料噴射装置が採用されている。この実習装置はエンジン単体であるが、実際と同じように始動ができ、各種の点検調整やエンジンの分解組立が可能である。

●測定内容

エンジン部品や電子制御式燃料噴射装置の構成部品の点検測定等を行う。また、ダイアグノーシス（自己診断機能）によるトラブルシューティングを行う。

●測定項目

1.噴射装置の各種構成部品の点検 2.噴射装置の各種センサー類の点検 3.ダイアグノーシスによる点検 4.充電装置・始動装置・点火装置の点検



高校Webに「掲示板」開く

広島国際学院高等学校

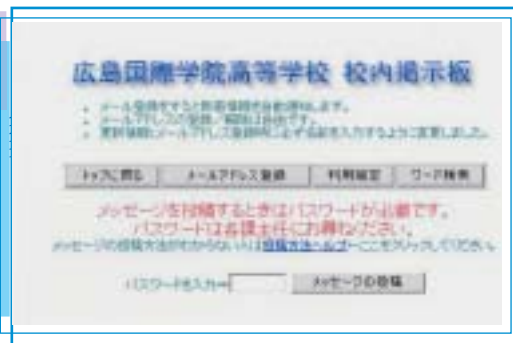
昨年11月から、高校のWeb Page に学内連絡用の掲示板を開設している。高校の全職員にLANがほぼ配備されたことにより、パソコンでホームページ(Web)を見たり、メールを利用することが可能になった。ネットワークプリンタや共有ファイルの利用などもできる。同時にLANを利用して、学内掲示板を作成してはどうかということになったのである。

朝礼や会議で行なっていた行事予定などの業務連絡が掲示板で補助される。教職員にとっても、今後の予定をチェックできるという利点がある。また、書き込んだ内容がWeb上で見られると同時に、登録されている教職員に向けて電子メールを発信する機能がついている。今では携帯電話でも電子メールを受けることができる。したがって緊急の場合にこの掲示板を利用すれば、より短時間で確実な連絡が可能となる。掲示板作成にあたり、KENT WEBというWebサイトのCGIプログラムを利用した。しかし、そのまま使うにはさすがに無理があり、学校用に改良するのに2週間ほど要した。また、掲示板の内容がそのまま電子メールとして送信されてしまうので、いたずらの書き込みや間違いがあれば受け取る方に迷惑がかかり、信頼を失うことになる。そこでパスワードを用意し、これを入力しないと掲示板への書き込みができないようにした。それでも、いまだに多少のバグが発生することがある。大学の情報処理センターの方やメディア情報通信学科の先生などからも助言をいただき、目下改良中である。

企業では電子メールや掲示板で業務や予定などの指示をするところもあり、両者のチェックは必須となってきている。これからは学校でもコンピュータやネットワークを活用し、教職員が瞬時に連絡しあえる環境づくりが求められている。



ただ今掲示板書き込み中



掲示板画面

作成者 教諭 土肥 穰治
非常勤講師 北 篤志

平成13年度理事長表彰受賞者

広島国際学院高等学校部活動成績優秀者

部 名	個人種目・団体別	成 績	受 賞 者	出 場 大 会 名
自 転 車 部	団体ロードレース	優 勝	隅田 幸助 (3年) 松下 善紀 (3年) 白浜 慶一 (3年) 富田 優作 (3年)	平成13年度全国高等学校総合体育大会
	個人ロードレース	優 勝 4 位	松下 善紀 (3年) 隅田 幸助 (3年)	
	団体総合 (男子)	優 勝	隅田 幸助 (3年) 松下 善紀 (3年) 白浜 慶一 (3年) 富田 優作 (3年)	第9回三笠宮杯ツール・ド・とうほく
	団体総合 (トラック) 団体総合 (ロード)	2 位 優 勝		平成13年度中国高等学校対抗自転車競技大会
	個人ロードレース 個人3-パーシュート 個人タイムトライアル	優 勝 優 勝 優 勝	隅田 幸助 (3年) 白浜 慶一 (3年) 柳 橋 真也 (3年)	
レスリング部	個人フリースタイル130級 個人フリースタイル50級	3 位 5 位	谷本 弘蔵 (1年) 山崎 雄平 (3年)	第56回国民体育大会秋季大会
吹 奏 楽 部	個人フリースタイル130級	優 勝	谷本 弘蔵 (1年)	第17回中国高等学校選抜レスリング大会
	団体 吹奏楽の部	金 賞		第42回全日本吹奏楽コンクール中国大会

自称「時遊人」——今、この時代の中で人生を最大限にEnjoyする——



町議会一般質問

うなら、あのころの貧乏借家生活が今でも忘れられない心の宝物だ。瀬野川キャンパスの講義、部活動、高城祭などを通して大勢の人とふれあい、交流し、そして素晴らしい時代でよい友と過ごしたのだった。

その仲間たちとは別々の道を歩み、離れ離れになったが、友とはいいいもので時折集まっては今でも当時の思い出を肴に酒を酌みかわす。

突然学生時代の思い出を語れといわれ、始めは迷った。なにしろ人一倍思い出の多い私なのだ。しかしあえて一つだけとい

さて、私が卒業し海外に出たきっかけは、会社案内の掲示に「喜多通信株式会社、海外出張あり」の文字を見たことだ。1982年秋、初めて大平洋を渡りNEC Americaにて7年間過ごした。社会人9年生にしてFord Motor Companyに転職、そして社会人20年生の今年、政治家としてまた新たな道を歩みだした。

学生時代の思い出と 社会人になって思うこと

工学部電気工学科昭和56年3月卒業

めい き かず よし
明 木 一 悦

社会人になってから思うに、何が起るかわからないこの時代の中でも常に自分の夢を持ち、全ての経験を栄養としてFlexibleに吸収し、面を上げて前進することが大切だ。また、どのような状況下においても常

に自分から相手の目線に立ち会話することだ。それから最後に、一番大事なものは家族、そして友であり、自分のチーズは自分で探しに行くことであると確信している。

高2の冬、修学旅行で初めて広島にやってきました。友達とは「また来ようね」と話しながら、生まれ育った静岡に帰りました。でも、まさかこの話がこんなに早く実現するとは想像もしませんでした。18歳の春、再びこの地に立っていました。そうです、この大学の入学式に出席するためでした。

この4年間は本当に短いものでした。そして色々な経験をしました。中でも一番大きかったことは親元を離れ、憧れの一人暮らしを始めたことです。でも想像とは違い、そんなに甘くはありませんでした。どんなに遅く疲れて帰

度は、どんな気持ちで卒業式を迎えているのか、今は想像もつきません。ただ、残り少ない学生生活を、多くのことを学び、さらに成長した自分で卒業式を迎えたいと思います。



「諦めないで頑張り続けること」と静かに話す

ふり振り返る

私の大学生活

工学部情報工学科4年生

くら しき あや の
蔵 敷 綾 乃

つてきても、家事は自分がしなければなりません。両親に支えられて生活してきたことに今は深く感謝しています。大学生活においては多くの人に出会い、学びました。その中で得たことは「前向きに物事に取り組み、諦めないで頑張り続けること」だと思います。真面目に取り組んだことに対しては、形となつて現われてくると思います。「みんな、もう出来ているのに」と思い投げ出すことがよくあった私にとっては、良い経験になったと思います。もうすぐ私は大学を卒業します。4年前、緊張と不安で入学式を迎えたあの体育館で今

研究室紹介

工学部

メディア情報通信学科

うねひろゆき
鵜根 弘行 研究室

私が現在取り組んでいる研究テーマは、ネットワークの通信速度を速くするためのネットワークルーティングアルゴリズムの開発です。

インターネット上でのデータの送受信は、大まかにいうとパケットリレーのようなものです。ここで、送り主と宛先との間でデータを受け渡ししてくれる装置のことを「ルータ」といいます。ルータはデータの宛先と、そのデータを次に渡すべきルータの組を記録している表(ルーティングテーブル)をもっています。そして、データがルータに渡されると、ルーティングテーブルの情報にしたがってデータを次のルータに渡します。この動作を繰り返し、宛先にデータを運ぶことができます。

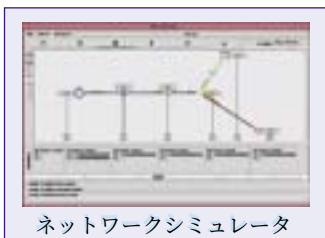
ルーティングテーブルはルータ同士の通信によって作られます。ここでネットワークが複雑になる、すなわちルータの数とルータ同士を接続する通信線の数が増えてくると、できあがったルーティングテーブルがネットワーク全体の通信速度を左右してしまいます。

この問題を解決するため、情報工学科の銭研究室の協力を得て、「Ants Computing」を利用してルーティングテーブルの作成を行うと、ネットワークの負荷の変動にあわせたルーティングテーブルの更新が可能になります。

なお、「Ants Computing」とは、Antと呼ばれるモバイルエージェントを用いた、巡回セールスマン問題を解くためのヒューリスティッ



研究室にて



ネットワークシミュレータ



学生とともに！

現代社会学部

たなかさとみ
田中 里美 研究室

私の担当しているゼミには高齢者に関心のある人が集まっています。昨年1年間、ゼミ生は自分の出身自治体(広島を中心とする中国地方の自治体)の高齢者福祉について調査研究をすすめてきました。

介護保険をはじめとする現行制度について学ぶ一方で、現

場の雰囲気を知るべく、秋には江田島の高齢者福祉施設を訪ねました。その後も東広島市にある高齢者福祉施設で、一般の人たちに混じって介護体験をしたり、高齢者福祉をテーマにした映画を鑑賞しにでかけたりして見聞を広げつつあります。

ところで高齢者について考えるとき、「コーホート(=同時出生集団)」の視点が有効です。高齢者は「新規参入者(新しく65歳になる人たち)」と「卒業者(冥土に旅立たれる方たち)」の間で刻々と新陳代謝を繰り返しています。例えば日本で最も高齢化が深刻化するのは戦後生まれのベビーブーマーたちが65歳になる頃なのですが、この世代が高齢者になる時の「高齢者問題」は、生涯を通じて農業・自営業に従事し、老後は子ども夫婦や孫たちと一緒に暮らしていた人たちが抱えた「高齢者問題」とは全く異なったものになることが予想されます。

ゼミ生には、老いが普遍的に抱える問題とともに、今現在高齢期にある人たちが特有の問題は何かを考えてほしいと願っています。高齢者の研究をしているゼミというと何か古臭いイメージがあるかもしれませんが、このゼミもまた現代社会に向き合い、「今を生きる」ゼミなのです。



研究室にて

平成13年度 広島国際学院大学就職状況

平成14年3月19日現在

- ・厳しい国際競争のもとで企業が求める「目標達成能力」、「問題解決能力」のある人材の育成に努めています。
- ・従来から元気で実践力のある学生を育てており、実社会での活躍が評価され毎年10倍以上の求人倍率による高い就職率を達成しています。
- ・就職模擬試験をはじめ面接・作文の指導など、学生の就職活動を就職部と教員がきめ細かくサポートします。

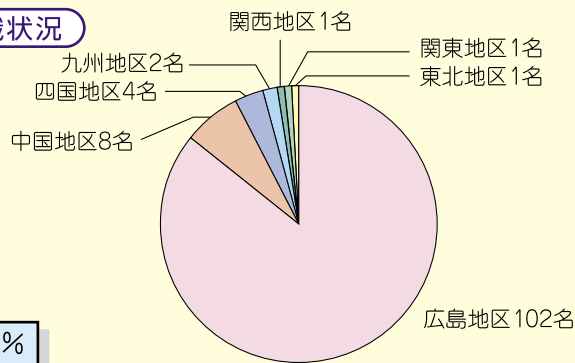
項 目			電 気 工 学	電 子 工 学	機 械 工 学	情 報 工 学	工 学 部 計	大 学 院	項 目								電 気 工 学	電 子 工 学	機 械 工 学	情 報 工 学	工 学 部 計	大 学 院							
卒業・修了者総数(人)			109	103	108	94	414	22	就 職 先 ・ 業 種 別	製造業	金 属	1		4	1	6		就 職 先 ・ 業 種 別	卸売・小売業	一般機械	5	1	12		18	2			
就職希望者数(人)			84	74	99	80	337	20			電気機械	3					3			1	通信機器								
採用内定者数(人)			69	67	87	77	300	9			電子機械	3	1	2	1	7	1			輸送用機械	4	1	10	2	17				
就 職 率			88%	96%	88%	96%	92%	45%			精密機械			4		4				半 導 体	1	1			2				
就 職 率(前年度)			92%	97%	89%	90%	92%	79%			そ の 他			2	1	3				精密工学機器				1	1				
大学に就職斡旋を希望しない数	進 学	7	6	4	5	22		求人状況			会社数	1,125	1,064	1,093	990	1,233	395			輸送用機器	1	3			4				
	進学のための勉強			2		2					求 人 数	1,184	1,113	1,158	1,017	4,472	605			電気電子機器	1	3			4				
	その他の勉強	10	9	1		20					求人倍率	14倍	15倍	12倍	13倍	13倍	30倍			百貨店・スーパー	4	6	3	3	16				
	フリーター(一時的な仕事)	7	18		5	30					就職先・地区別	広 島 地 区	29	37	57	30	153				金属製品				1		1		
	そ の 他	7		2	4	13	2					関 東 地 区	20	13	15	32	80				住宅・住宅設備								
									関 西 地 区	12		9	6	11	38		そ の 他	4	5	4	3	16							
									中 国 地 区	5		1	6		12		自動車整備	1			1	2							
							四 国 地 区	1	3	2		2	8		情報サービス	2	4	1	28	35	1								
							九 州 地 区	2	4	1		2	9		設 計	5	6	9	12	32									
就職先・業種別	建設業	総合工事			1	2	3		就職先・業種別	サービス業	環境保全													1					
		電気工事	8	3	1		12				ビルメンテナンス	2	2	2			6												
		設備工事	4	2	2		8				そ の 他	15	21	16	16	68													
		通信設備工事		2			2				金融・保険業	2				2	4												
		そ の 他	1	1			2				運輸・通信業	1			2		3												
	製造業	食 料 品			2		2			不 動 産 業																			
		出版印刷								公 務 員			3	2	2	7													
		繊維工業	1		2	1	4			教職(公務員)			1			1													
		鉄 鋼		1	5		6			合 計	69	67	87	77	300	7													

平成13年度
広島国際学院大学自動車短期大学部進路状況
平成14年3月19日現在

求人状況

求人企業数	118社
求人総数	321人
求人倍率	2.7倍

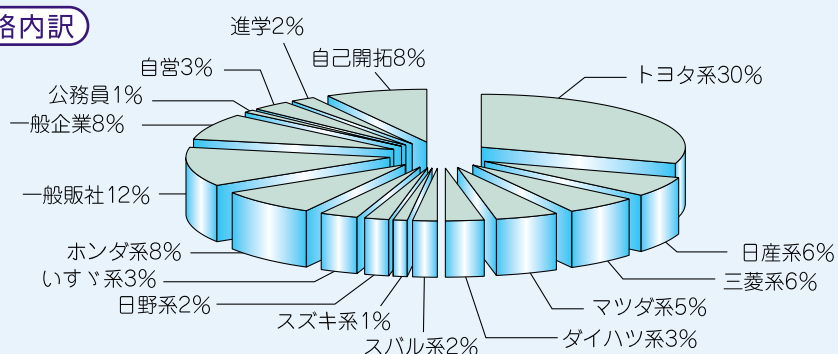
地域別就職状況



進路状況

卒業生数	132名	就職率	100%
進学者数	2名	就職希望者数	119名
自己開拓	11名	就職決定者数	119名

卒業生の進路内訳



平成13年度
広島国際学院高等学校卒業生進路状況

平成14年3月15日現在

学 科	性 別	在 籍	進 学				就 職					
			大 学	短 大	専 門	未 定	県 内	県 外	公務員	自 営	自 己	未 定
総合システム科	男	187	71	10	42	12	20	2	6	4	4	16
	女	19		3	7		4					5
普 通 科	男	188	109	5	18	46	4		2			4
	女	160	37	33	47	22	7			1	3	10
合 計		554	217	51	114	80	35	2	8	5	7	35
		%	83.4%				16.6%					

主な進学先(合格先)

広島大・島根大・広島県立女子大・広島市立大・立命館大・関西外国語大・広島修道大・近畿大・広島工業大・広島経済大・安田女子大・広島国際大・広島国際学院大・広島女学院大・呉大・エリザベト音楽大・福山大・比治山大・広島文教女子大・岡山理科大・吉備国際大・東亜大・徳山大・倉敷芸術科学大・東海大・摂南大・京都産業大・日本女子体育大・山梨学院大・京都学園大・大阪学院大・関西国際大・大阪商業大・洗足学園大・姫路獨協大・九州共立大・九州看護福祉大・日本文理大・第一経済大・第一工業大・長崎総合科学大・福山市立女子短大・新見公立短大・安田女子短大・比治山短大・鈴峯女子短大・山陽女子短大・岩国短大・順正短大・広島文化短大・広島国際学院大短大・鳥取短大・関西女子短大・堺女子短大・日本航空専門・広島市医師会看護専門・国際医療福祉総合学院・県立広島高等技術専門・広島YMCA健康福祉専門・広島コンピュータ専門・広島ビジネス専門・広島外語専門・県理美容専門・広島工学院専門・広島工業大学専門・広島情報専門・広島電子専門・広島美容専門・中部自動車整備専門

主な就職先

JR西日本、マツダ、シンコー、山九、デオデオ、コベルコ建機、自衛隊、広島県警、高木デルタ工業、丸子ガラス、シモハナ物流、エーライン、大和重工、かに道楽、大盛鉄工所、東洋観光、リライアンス、新和金属、マイクロテクノ、マサヨシ、住野工業、中国製螺、ワイテック、アイドル、サロン・ド・ヒロ、ノン、ミッシェルズ、広島アポロ、一ノ瀬病院



近年の技術革新は、全く凄まじい。そのよい例が携帯電話である。あれよあれよという間に次々と新しい機能が加わり、最近では写真なども簡単に送れるようになってきている。

またデジカメの出現によって、それまでフィルムの感度をよくするための研究を進めてきた技術者は、それまでの研究をどのように位置づけるか根本的に再検討しなければならなくなってきた。

これらの現象は、いいかえれば大学である特定の専門知識しか吸収していない技術者は今後必ず技術革新の影響を大きく受けて、その存在価値が問われる事態が来ることを意味している。

このような情勢に対応して、工学部では表記の学科横断型教育プログラムを発足させることになった。すなわち学生諸君は、ある特定の学科に属して学科の専門知識を修得するとともに、専門にとらわれない分野の知識・技術を学ぶのである。いわば、米国でのMajor(主専攻)とMinor(副専攻)に対応している。時代が進み技術革新が起こっても、それに適応できる技術者を育てることをその目的としている。

現在、学科横断型教育プログラムとして「メディアステーション」が好評の中で活動している。今年度から「環境・生命化学プログラム」、「環境マテリアルプログラム」および「大学院特別進学コース」が新たに活動を始める。この方式をわかりやすく説明すると、学生諸君が自ら献立を選ぶカフェテリア方式の食堂に例えることができる。「main dish」が所属学科の専門科目に相当し、それ以外に気に入ってとる

副専攻（学科横断型教育プログラム）

	メディアステーション	環境マテリアルプログラム	環境・生命化学プログラム	大学院特別進学コース
情報工学科				
メディア情報通信学科				
電気工学科				
機械工学科				

技術革新に強い技術屋に！
学科横断型教育プログラム

工学部

卒業研究発表会へ

高校1・2年生の皆さんを招待

＝発表の雰囲気を感じ＝

工学部

高校生を対象に、4年生が卒業研究の成果を発表する会を3月2日(土)の午後に行った。県内の高校生や先生方など80名が参加し、熱心にメモをとったり質問をしたりする光景が見られた。8件の研究は各科から2テーマずつ選抜されたもので、発表した学生の一人は、「高校生の皆さんにわかりやすく説明する点で苦労しましたが、少しでも研究のおもしろさが伝わればうれしいです」と話していた。参加者のアンケートでは、「高度な内容で用語が難しかったが、興味がわいてきた」という言葉が寄せられていた。当日の発表テーマと発表者は次のとおりである。

伝えたい分かりやすく



高校生を前に緊張と頑張り！

電気工学科	瀬野川の水質環境評価システム(山岡洋介) Siドープドガラスの作製と物性評価(赤井法幸、内海貴史)
電子工学科 (現メディア情報通信学科)	マイクロコンピュータの設計と製作(木原真一、小松優子、関本真也) 赤外線サーモグラフィによる基礎研究(植木一成、西野哲也)
機械工学科	光学ガラスの超精密研削加工に関する基礎研究(林 寛規、久保祐一) 高齢者向けデリー・ディスペンサーの開発 (吉野正一、清水康孝、住田一大)
情報工学科	カスケードインパクター花粉捕集器の開発(田原栄児) インターネットショップの構築(藤井知紗都、山下洋史)